

報道関係者 各位

2024. 2. 22
<配信枚数3枚>**■ デジタルを活用した新しい教育手法の開発と実践にチャレンジ ■
教育開発 DX ピッチ 最終報告会 「D. I. G.」 を開催**

— 教育×DX、2年かけて検討してきたアイデアを報告 —

日 時：2024年2月29日（木）13:00～17:00

場 所：立命館大学大阪いばらきキャンパス（大阪府茨木市）

立命館大学は、2022年、デジタル技術を活用した新たな教育手法の開発や実践を推進する教職員をサポートする目的で「教育開発 DX ピッチ」を開催しました。このイベントで3つのチームが評価され、その後2年間にわたってアイデアを実現するための取り組みを進めました。この取組の成果報告会「D.I.G.」を、2024年2月29日に大阪いばらきキャンパスで開催します。

本学は、学園ビジョン R2030 チャレンジ・デザインにおいて中長期目標として「テクノロジーを活かした教育・研究の進化」を掲げています。この取り組みの一つとして、2022年5月、「教育開発 DX ピッチ」を行いました。デジタル技術を活用した新しい教育手法開発を提案した3チーム（詳細は別紙）は、2年かけてアイデアの具体化に挑戦しました。英語教育とAIを組み合わせた教育実践や自分だけのコンシェルジュをAIとアプリで実践するなど、データとデジタル技術を活用して、教育手法や手段の開発、教職員の業務負担の軽減を目指すアイデアを具体化してきました。

今回は、支援を受けてきた3チームが実践事例の最終報告会を行います。そのほか、会場では、教育DXに関連する展示・体験ブース、企業出展なども予定しています。

教育開発 DX ピッチ特設サイト(<https://www.ritsumeai.ac.jp/itl/2022DXpitch/>)

記

日 時：2024年2月29日（木）13:00～17:00

開催場所：立命館大学大阪いばらきキャンパス B棟2階（大阪府茨木市岩倉町2-150）

観覧対象：立命館学園関係者のみ

発表内容：

① Ritsumeikan Writing Support Group

学生が自分の書いたレポートに対し、フィードバックを受けられる環境を作ること目標に、AIを活用したフィードバックシステム「Ri:write」の開発について

② プロジェクト発信型英語プログラム

英語教育の新しい形を提案し、学生が最新の技術やサービス（AI 自動翻訳や発音強化アプリ、XR空間など）を使って、英語で発信するための支援環境の作りについて

③ 学生の自分探しを応援する探究型 AI コンシェルジュ

自然言語処理技術を使い、学生の潜在的な興味や関心等をもとに、学生に合った大学の授業や研究室を提案するアプリの開発について

※ご取材いただける場合は、2月28日（水）17:00までに、下記までご連絡をお願いいたします。

以上

本リリースの配布先：京都大学記者クラブ、大阪科学・大学記者クラブ、文部科学記者会

●取材・内容についてのお問い合わせ先

立命館大学広報課 担当：池田 TEL. 075-813-8300 Email. r-koho@st.ritsumeai.ac.jp

別紙

■発表チーム取組み紹介

①Ritsumeikan Writing Support Group

学生へのフィードバック機会の向上を目的に AI フィードバックシステム「Ri:Write」の開発に挑戦します。教員から学生へのフィードバックは、手厚いものほど学生の学習意欲が高まる半面、教員に量的な負担がかかるというジレンマがありますが、「Ri:Write」はこれを解消できます。学内でオープンアクセス化し、全学協働で管理・チューニングを行い、AI と共存した成長環境を構築することで、学園全体の教育・研究力向上を目指します。

(2023 年 3 月中間報告会の様子)



(「Ri:Write」構想イメージ)



参考映像 : <https://youtu.be/jp1JbWM83qw>

②プロジェクト発信型英語プログラム

課題解決・問題解決型の次世代英語教育プラットフォームを構築していきます。これによって「英語教育」を成果発信のプラットフォームとして機能させ学園ビジョン R2030 を見据えた未来を目指します。学部・研究科を超えた学生プロジェクトの実現やメタバース上でのカンファレンスの実施、AI 翻訳を活用した成果発信のサポートなどを行います。英語教育から新たなプロジェクトを創造し、全学的な英語教育のアップデートを目指します。

(2023 年 3 月中間報告会の様子)



(「PBL 型次世代英語教育プラットフォーム」構想イメージ)



参考映像 : <https://youtu.be/Cb3R4cVOduA>

③学生の自分探しを応援する探究型 AI コンシェルジュ

学生の SNS や高校時代の活動等から抽出した「興味・関心」とマッチする正課授業・ゼミを提案するアプリの開発に挑戦します。これによって自分の軸を明らかにすることを手助けし、自分の興味関心をアカデミックな視点で捉えることで深掘りすることができます。また「大学によって教育を個別最適化する」のではなく「学生自身によって学びを個別最適化する」アプローチによって、学問分野に捉われない幅広い学びを構築し、卒業後も生涯にわたって自分軸をアップデートすることも可能となります。

(2023 年 3 月中間報告会の様子)



参考映像 : <https://youtu.be/mEbF5ZYep0>

(「AI コンシェルジュ」構想イメージ)



■当日ブース出展予定について

①大学・附属校関連ブース

- ・学習活動において VR 技術が効果的となる場面を特定するための探索的開発
- ・オンライン受講で修了できる仕組みの導入
- ・部活動におけるデータ分析システムの構築
- ・日英二言語・多言語対応の更なる発展に向けた生成 AI 利活用の取組み 他

②企業ブース

発表チームとともに取り組んできた企業様のご出展を予定しています。

■「教育開発 DX ピッチ」概要

学園ビジョン R2030「挑戦をもっと自由に」を体現し、デジタルを活用した新しい教育手法開発および実践にチャレンジする教職員を支援することを目的として、教学部と教育・学修支援センターが連携し、2022 年 5 月に「教育開発 DX ピッチ」を開催しました。部門を超えた教職員・学生によるチームから、AI 等を活用した画期的な教育に関するアイデアが提案され、審査の結果、優秀賞として 2 つ、最優秀賞として 1 つのチームが選ばれました。

また、2023 年 3 月には、1 年間の取組結果を報告する「中間報告会」を実施し、その後に行われた継続審査において、2 年目(2023 年度)の支援が決定しました。

以上